

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2017年12月18日公開

.....
紅海のすぐ側、エイラットの町より、シャローム。アミールです。今回は、予想外のフェイスブックライブですが、パレスチナとムスリムたちの大敗北について一言お伝えしたいと思います。またしても彼らは、どうにかしてドナルド・トランプによる「エルサレムがイスラエルの首都である」との認識を覆そうとしました。皆さん、ご存知の通り、世界の国々がショック状態です。ドナルド・トランプの行動に、文字通り誰もが、多くのイスラエル人も含めて、驚きました。彼らは、アメリカ大統領がイスラエルを認識するのを、自分たちが目撃する日が来るなどとは、思いもしていなかったのですから。

その2時間ほど前に起こった、政治的な事柄を説明しますと、まず、ある雑誌がオバマ政権に関して、劇的な事を暴露したのです。国連投票の何時間も前に出回り暴露された内容とは、過去10年間、世界中の諜報社会は、ヒズボラが、テロに資金提供するためにマネーロンダリングを行う様子を監視していたのです。彼らは麻薬をはるばるヨーロッパやアメリカに送り、その資金で中古車を購入し、それをアフリカに売り、そうして洗浄され、綺麗になった資金をレバノンに送り返して、それでテロに資金提供していたのです。オバマ政権は、「カサンドラ作戦」と呼ばれるその全報告を受けていました。その中で、ヒズボラの麻薬販売やテロ、マネーロンダリングその他に関して、すべてが報告されていたのです。しかし、オバマ大統領は行動しないことを決め、イランに恥をかかせないために、それに対して何もしませんでした。そうすれば、イラン協議が可決されるからです。彼は、イランに現金を支払っただけでなく、彼は、イスラエルが彼らの核施設を攻撃できるあらゆる可能性を奪っただけでなく、彼は、ヒズボラがアメリカ国土でやっていることに対しても見ない事に決め込んだのです。そしてそれが暴露された後の、トランプ政権の行動が信じられないほど対照的なのです。オバマの国連安保理での最後の仕事は、嘆きの壁でさえもユダヤ人のものではない、という決議に対する拒否権の行使を避けることでした。そして、現在の大統領トランプは、「エルサレムがイスラエルの首都である」というトランプ大統領の認識を無効にするという国連安保理決議に対して、拒否権を行使するようと、ヘイリー大使に命じました。皆さん、はっきりと言っておきます。過去2000年、エルサレムがイスラエルの首都である、と認識した国はありません。我々が故国を追い出されて以来、それを認めた者は誰もいません。誰もがエルサレムを取り込んだのは、とても興味深いことです。クリスチャン…ビザンティン（東方教会時代の）も、そこを取り込み自分のものにしました。それから、ムスリムも自分のものにしました。誰もが自分のものにしました。しかし、この町の正当な所有者の権利は、いつも剥奪され、我々は常に否定されてきました。それがとても面白いことに、2日ほど前、ホワイトハウスの政権が次に行おうとしていることをリークしました。トランプ大統領が数時間以内に

「中東の問題は、イスラエルではなく、イスラムテロとイランだ。」と発表するとのことでした。これは、我々がこの30年間、世界に向かって言い続けてきたが、誰も聞こうとしなかつ

ったことです。それが、ついにアメリカの政権によって、彼らの戦略的計画として、これから先の3年間の行動計画として、認識されたのです。皆さん、これは物凄い事ですよ。ということで、トランプは先ほど、ヘイリー大使に命じて、彼のエルサレム認識を取り消すという安保理決議に対して、拒否権を発動しました。ですから、それは今も生きています。そして彼は、全世界に向かって言います。彼らの前に、真実を突き付けるのです。「中東の問題は、イスラエルではなく、イラン、ヒズボラ、過激派イスラムテロである。現実を見ろ。」

ヨーロッパはイスラムを恐れていて、トランプの決断に反対する決議に賛成しました。イギリスまでもが、それに屈しました。これはとても恥ずかしいことですよ。全諸国がトランプの決断を無効にする票を投じたのに、アメリカはたった一票で全てを拒否したのです。つまり彼らは、自分で自分を冷笑したのです。ムスリムたちの前でいい恰好をしようとした自分たちの行動によって、彼らはただ自分たちを冷笑しただけなのです。彼らが「可」と投じようが、「否」と投じようが、ムスリムたちが彼らを好きになることはありません。ロンドンで起こっていることを見てください。

ベルリンで起こっていることを見てください。

ブリュッセルで起こっていることを見てください。スウェーデン、ノルウェーで起こっていることを見てください。彼らはこれらの国全体で、大惨事を拡散しているのです。これらの国が彼らに味方しようと、敵対しようと、そんな事はありません。彼らは、これらの国をムスリム諸国にしたいのですから。ということで、国連サーカスの新たな物語、新たなエピソード、ムスリム諸国が国連安保理参加国に圧力をかけて、「エルサレムがイスラエルの首都である」ことに反対させようとしたのですが、またしても失敗に終わりました。面白いと思いませんか？我々に、他方の権利を認めろと要求している同じ人たちが、我々の権利を認めないのですから。ダブルスタンダード、ご都合主義と言っておきます。以上です。また新たな、歴史的な日となりました。

ペンス副大統領が2日後、エルサレムを訪れ、彼は嘆きの壁を訪れます。そしてアメリカは、トランプ大統領の決断を支持していることを世界に知らしめる、と言いました。なんと素晴らしい時代でしょうか。皆さんはどうだか分かりませんが、私は超ワクワクしていますよ。この2000年間、世界はエルサレムの事など、何とも思っていなかったのですから。所有者がコロコロと変わり、全ての皇帝がそれぞれ、エルサレムに対して好き放題な事をしてきたのです。興味深いと思いませんか？ということで、エルサレムの持ち主が変わりました。それだけです。そして、世界は動きます。エルサレムが正当な所有者の手に渡るなり、世界中が発狂するのです。あろうことか、ムスリムを怒らせることを世界中が恐れているのです。それから、これがなかなか面白いのですが、イスラムの歴史上、エルサレムが問題であった事は一度もないのです。ただの一度もありません。実際、ほんの数日前に、ムスリム聖職者が言ったのです。

「そこは、コーランには出て来ないのだ。ムハンマドが語ったのは、エルサレムではなく、メディナである。メッカとメディナだ。彼は、メッカにいる時はメディナについて語っていた。」

明らかに、このエルサレム問題は、悪魔そのものの働きで、それで彼らは支配しようとしているのです。皆さんもエルサレムに来られると分かりますが、アラブ人たちは、そこをゴミ箱のように扱っているのです。彼らの地域はゴミだらけで、イスラエルの領域はとても綺麗なことに驚きますよ。同じ自治体、同じ作業員が同じ通りを清掃しているのです。それが、ある地域はゴミ箱のように扱われ、ある地域では大切に扱われている。だから私はこれを「持家メンタリティ」と「借家メンタリティ」と呼んでいます。前にも言いましたが、私は個人的には、アラブ人がエルサレムに住む事には構いません。私たちは共存することについては、既に共存していますから問題ないのです。しかし、そろそろ現実を目を向けて認識する時だ、と私は思うのです。ユダヤ人は、絶対にエルサレムを手放しません。これは私たちの首都で、2000年の後に我々は故国に帰り、エルサレムが我々の手に戻ってきたのです。ここは3000年ユダヤ人の首都です。興味深いと思いませんか？私は今日、考えていたのですが、エルサレムが我々のものではないと、我々に説き伏せようとして来た全ての国が、中東を略奪したのです。イギリス、フランス、その他豪華な博物館、大英博物館やルーブル美術館などで、彼らは皆、ムスリムが存在するはるか以前に、我々ユダヤ人が故国に生存していたことを証明する遺物を展示しているのです。つまり、片方では1800年代、1900年代に彼らはここに来て、古代の遺物を強奪して行き、自分たちの美術館に置いている、これらの遺物を見に来た人々からお金を取っているのです。その一方で、世界に「エルサレムはユダヤ人のものではない」と言うとは、大した根性です。彼らは、我々の国から盗んだ遺物を展示して、お金を徴収しているのですよ。信じられますか？1800年代半ばからこれまでに、イスラエルの地で見つかった古代の遺物が全て、ユダヤ人の存在を証明しているのです。考古学者たちがヘロデ通りやウィルソン・アーチ、南壁の階段で見つけた、ユダヤ人がそこにいたことを証明する物です。それらは2000年前、3000年前にエルサレムにユダヤ人がいた時の遺物です。その国々が、エルサレムがイスラエルの首都であるということを否定して、投票しているのです。ビックリです。可能な限りの記録を塗り替える偽善ぶりですよ。もう一度言いますが、イギリス、フランス、その他の国々が、自分たちの美術館に展示して自慢している考古学的遺物が、ユダヤ人のエルサレム所有権を証明しているのです。イスラムが生まれる、はるか以前です。彼らは、自分たちの博物館で、全世界からお金を取りますが、政治的な場面では完全にご都合主義です。もし、嘆きの壁や、神殿の丘や、エルサレムの中のあらゆる古い部分が、ユダヤ人とは全く関係ない、そこにユダヤ人の伝統が一切ないと言うのなら、あなたがたはその博物館を閉館しなければなりませんよ。全部閉館して、それらの考古学的遺物を見るために、そこを訪れた人全員に、その人たちが支払った観覧料を全額返還するべきです。面白いですね。神が、完全に支配されていることが分かって、私は本当にワクワクしてい

ますし、本当に嬉しいです。次に何が起こるのか、とても楽しみです。エルサレムは再び審議に戻り、世界中が発狂しています。預言者ゼカリヤがこれほど正しかったことは、今までになかったでしょう。私はただただ感動しています。皆さん、元気を出してください。神が、完全に支配されています。そして私たちは、エゼキエルの日、イザヤの日、ゼカリヤの日を生きているのです。何年にも渡る沈黙の後、我々の世代は、物凄い数の預言が成就されるのを目の当たりにしているのです。今は、神が動いておられる歴史的瞬間ですよ。まさに目の前で、物凄いことが起こっているのです。皆さん、今はまた、自分の行いを正す時でもあります。今こそ、真剣に主と共に歩む時です。今こそ、心を尽くし、思いを尽くし、主に仕える時です。全霊で主を愛し、福音を宣べ伝える時、可能な限りを尽くして、従事する時です。前代未聞の事態が起こるのを、世界が目にしてしているのです。そして、これらを理解しているのは、我々だけです。

今日は、一行を紅海に案内していました。その時の写真を Behold Israel のインスタグラムでご覧いただけますが、船に乗りながら、出エジプト記のエジプトから紅海を渡った事の全貌を教えていたのです。そこで私が教えたのは、神が何かをされる時、誰にも止めることは出来ない、ということです。神が、モーセを選ばれた時のことを考えてみてください。モーセは80歳、どもりがありました。神の名前すら知らない国へ送られたのです。当時、世界の指導者であった王の所に送られたのです。その指導者の所に送られ、言わなければならなかったのです。

「私は、あなたが奴隷にしている民を連れて行く。彼らは、あなたの地を出て行く。」

「それだけではなく、彼らはあなたの民の富を持って出る。」

彼らは、あなたの富、貴金属、金、銀を持って行く。

わたしが、彼らを砂漠へ連れて行く。彼らは、彼らのものではない土地へ行き、

わたしが、彼らにその地を与える。その地は、他の7つの国によって占領されている。彼らよりも強い者たちだ。わたしが、彼らの代わりに戦おう。そして、わたしがそれを彼らに与える。わたしが主である。

よく考えてみてください。主は、モーセに言われたのです。

「モーセよ。あなたはパロの前に出るが、パロはそれが気に入らないだろう。」

つまり、パロがモーセについて耳にする前、モーセがパロの前に立つ以前に、既に神はパロの反応をご存知だったのです。神は全てをご存知です。そして、神はモーセに言われたのです。

「モーセよ、備えよ。あなたがこれから行おうとしていることは、あなたには理解出来ないだろうが。」

80歳で国の指導者になるなんて、理解できないでしょう。あちらの国では、指名手配されているのです。しかも、どもりがあります。それなのに、物凄く強い国の指導者の前に立つ。殺されるかも知れない。どれ一つとっても、訳が分かりません。しかし、神が

「わたしがこれを行う」

と言われたら、

「わたしがあなたと共に行く。だから、行くのだ。」

と言われたら、行くのです。私は、今がまさにそのような時だと感じるのです。今、神が動かれ、信じられないようなことを行われていると。イスラエル人が、この信じられない出エジプトを経験したのと同じような時代、

「わたしがあなたがたを鷲の翼に乗せた」

と神が言われた時代です。皆さん、信者の皆さん、ここから取り去ってもらう準備をしましょう。我々の出エジプトの準備をしましょう。神は、私たちが鷲の翼に乗せるだけでなく、一瞬のうちに、一瞬もたたないうちに、私たちがここから取り去られるのです。私たちの父祖たちが見たいと願った事を、私たちは目にしているのです。パウロさえ、私たちが今見ていることを見たいと願っていたのです。本当に信じられないような時代に生きていて、私は超々ワクワクしていますよ。だから皆さん、頑張りましょう。

トランプ大統領、ありがとうございます！

ヘイリー国連大使、あなたの今日の勇氣に感謝します！

実際、ネタニヤフ首相が先ほどツイッターで投稿していましたが、

「ヘイリー大使、あなたはまさにマッカビーの人たちようだった。あなたは光を灯し、暗闇を追い払った。」

国連は真っ暗闇です。しかし、暗闇を追い払うのには、一つの光で十分です。眩しい光は必要ありません。たった一つの光で、闇は逃げ去るのです。今日、国連安保理で私が見たのは、一つの光です。闇の国々が14ヶ国、その中にたった一つの光、その一つの光が闇を追い払ったのです。そして、あの決議を拒否し、終わらせました。信じられない事です。

ということで、イスラエル人の代表、ユダヤ人の代表として、ユダ部族の一員として、エルサレムで生まれた者として、2000年の後にイスラエルで生まれた一世として、

トランプ大統領、ペンス副大統領、ヘイリー大使に感謝します。

今日、イスラエルのために立ち上がってくださった、あなたがたの勇氣に感謝します。これから数時間の間に、トランプ大統領は

「イスラエルが問題ではない」

と言って、国々の目の前に真実を突き付けるでしょう。いくつかの国は、すでに理解しています。チェコ共和国は、イスラエルのことを「光の筋」だと言いました。

ハンガリー、ポーランド、オーストリア・ウィーン新政府も同じことを言いました。現在、目の前でヨーロッパが分裂しています。ダニエルが言った通りに、粘土と鉄がはっきりとしてきました。そしてすぐに、石が、私たちの救いの岩が、その足を打ち砕きます。

ハレルヤ！

ありがとうございます。紅海より、God bless you!

ここから車で一時間ほどの所を、イスラエルの民が、エジプトからサウジ側へと渡って来ました。皆さんに、紅海を渡った時の、素晴らしい話をするのが楽しみです。なぜ、シナイ山は考えられているところではなく、サウジアラビアなのか。どのようにして、これらの証拠が発見されたのか？イスラエルの民が、片側から反対側へ渡った軌跡の全て。シナイ山近くの、真ん中で避けている巨大な岩はどうやって見つかったのか？その裂け目から、水が出ていた形跡があるのです。モーセが打って裂けた岩です。物凄いものが、ここにはあるのです。聖書は、おとぎ話ではありません。考古学的証拠があるのです。まさに、詩篇 85 篇が伝えている通りです。

11 まことは地から生えいで、

(詩篇 85:11a)

それらが、現実を否定している人たち全てを殺します。

彼らは、自分が嘘を言っていると分かっているのです。

彼らは、自分のついでに嘘を信じていますが、現地の証拠が全てを物語っています。

エルサレムは、ユダヤ人のものです。ユダヤ人が紅海を渡ったのです。また、3000年以上前に神が、私たちを故国に戻し、エルサレムを首都として我々に与える、と私たちに約束されたのです。そして、神はそれをされたのです。イスラエルは——だから私は、このミニストリーの名前を Behold Israel (見よ。イスラエル) と名づけたのです。イスラエルを見れば、時代と季節が分かりますからね。そして神が、信じられないほど真実であられるという事を、行動で示してくださるのが目に見えます。本当にワクワクします。

お聞きくださり、ありがとうございました。

12月22日か23日に、クリスマスについてのメッセージをします。多くの人から、クリスチャンはクリスマスを祝うべきかどうかで、質問が来ていますので、

「クリスチャンはクリスマスを祝うべきか？」

についてお話しします。今は、私の考えは言いませんが、23日にお話ししますので、ユーチューブかフェイスブック、インスタグラム、ツイッターをご覧ください。とても面白い内容になると思います。

ありがとうございます。紅海より、God bless you! また何か起これば、オンラインでお話します。God bless you! エイラットの町よりシャローム！さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>